ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2025/06/25 号（As of 2025/06/24）

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	145.77 AUD/USD
TKY 9:00AM	145.91	1.1599	169.08	1.3548	0.6478
SYD-NY High	146.16	1.1641	169.17	1.3648	0.6519
SYD-NY Low	144.52	1.1577	167.92	1.3531	0.6456
NY 5:00 PM	144.88	1.1609	168.17	1.3618	0.6490

	終値	（前日比）		終値	（前日比）
NY DOW	43,089.02	507.24	日本2年債	0.7300%	0.0000%
NASDAQ	19,912.54	281.57	日本10年債	1.4100%	0.0100%
S&P	6,092.18	67.01	米国2年債	3.8199%	▲0.0424%
日経平均	38,790.56	436.47	米国5年債	3.8600%	▲0.0491%
TOPIX	2,781.35	20.17	米国10年債	4.2945%	▲0.0461%
ｼｶｺﾞ日経先物	38,865.00	170.00	独10年債	2.5330%	0.0280%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,758.99	0.95	英10年債	4.4705%	▲0.0190%
DAX	23,641.58	372.57	豪10年債	4.1510%	▲0.0640%
ﾊﾝｾﾝ指数	24,177.07	487.94	USDJPY 1M Vol	10.04%	0.13%
上海総合	3,420.57	38.98	USDJPY 3M Vol	10.33%	0.08%
NY金	3,333.90	▲ 61.10	USDJPY 6M Vol	10.34%	0.05%
WTI	64.37	▲ 4.14	USDJPY 1M 25RR	▲1.41%	Yen Call Over
CRB指数	296.97	▲ 8.09	EURJPY 3M Vol	8.70%	▲0.03%
ドルインデックス	97.86	▲ 0.56	EURJPY 6M Vol	9.21%	▲0.04%

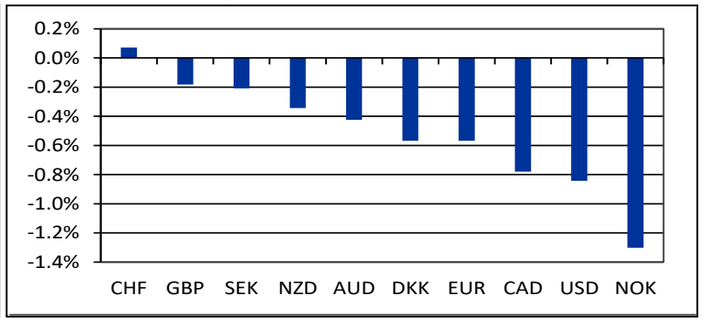
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
6月24日	17:00	独	IFO企業景況感/現況/期待指数	6月	88.4/86.2/90.7	88.0/86.5/89.9
	23:00	米	パウエルFRB議長 講演	「現時点では関税によってインフレを見込む」		
	23:00	米	ｺﾝﾌｧﾚﾝｽﾎﾞｰﾄﾞ消費者信頼感	6月	93.0	99.8

Date	Time		Event		予想	前回
6月25日	10:30	豪	CPI/CPIトリム平均値(前年比)	5月	2.3%/-	2.4%/2.8%
	23:00	米	パウエルFRB議長 講演	-	-	-
	23:00	米	新築住宅販売件数	5月	693k	743k

【ドル円相場】

【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.00-146.00	1.1500-1.1700	166.00-170.00

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は145.91ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。朝方にﾄﾗﾝﾌﾟ米大統領がｲﾗﾝ・ｲｽﾗｴﾙ間の暫定停戦合意を発表したことなどを受け、「有事のﾄﾞﾙ買い」の巻き戻しなどから日中を通してﾄﾞﾙ売り優勢の展開。じりじりと下値を切り下げ、145.10ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った。
ロンドン	145.10ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ後、ｲﾗﾝ・ｲｽﾗｴﾙの停戦発表を受けて、ﾄﾞﾙは全体的に弱含むものの、ﾄﾞﾙ円は方向感に欠けた。結局、144.86から145.42のﾚﾝｼﾞで推移し、NY時間に渡った。
ニューヨーク	NY市場のﾄﾞﾙ円は、海外時間に伝わったｲﾗﾝ・ｲｽﾗｴﾙの停戦発表や、米6月ｺﾝﾌｧﾚﾝｽﾎﾞｰﾄﾞ消費者信頼感指数が予想を下回った事を受け、144.52まで下落。午後は米金利が低水準で推移する展開が重しとなり、144.60付近を挟んだ上値重い推移が続くも、終盤にかけて上昇し、144.88ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、ﾕｰﾛﾄﾞﾙは先述の予想を下回った米経済指標の結果を受け、ﾄﾞﾙが売られる中、1.1641まで上伸。午後は1.1620付近を挟んだ推移が続き、1.1609ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル/円は下落。イスラエル・イラン停戦合意を受けたドル買いの巻き戻しから、欧州時間には一時145円を割り込む場面も見られたが、一服後は145円近辺でもみ合い。NY時間に入ると、再びドル/円は下落し一時144円半ば付近まで下値を拡大する場面も見られた。終盤は144円台後半に持ち直してクローズした。この日NY時間には、米6月消費者信頼感指数が発表され予想外の低下となったこと、パウエルFRB議長が議会証言で利下げ前倒しの可能性について触れたこと、などもドル/円の下落を後押しした。
本日もドル/円は軟調推移を予想する。但し、中東情勢には引き続き警戒が必要か。イスラエル・イラン停戦合意が発表されてからドル/円は一方向に下落しており、昨晩は節目の145円も割り込み一段下落の流れとなりそう。一方で、停戦合意違反のヘッドラインが見られており、予定通り戦闘終結となるか予断は許されない状況も続いている。本日は大きな経済指標の発表の予定もないため、中東情勢のヘッドラインを注視しつつ、ドル/円の下値を探る展開となるだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：尾身・松木